



ブッククラブ

現在、国語の時間には、全校で「ブッククラブ」という学習に取り組んでいます。学年の枠を越え、同じ本を選んだ子どもたち同士で対話をし、考えを広げたり、深めたりする活動です。

下級生や上級生と共に学ぶことを楽しみにしている様子が見られ、どの子も意欲的に参加していました。教室に戻ってきた子どもたちに感想を聞くと、「私のグループには一年生もいるけれど、とてもよい意見を言うので、私も頑張ろうと思った」「同じグループの四年生が質問をしてくれるので、話し合いがとても深まった」など、前向きな声が多く聞かれました。

異学年で協働して活動することには、主に次のような学習効果があります。

- ① 社会性や思いやりの心が育ち、他者理解が深まる
- ② 「できた」という実感を得やすく、主体性や自己有用感が高まる
- ③ 相手に伝わるよう考えて説明することで、学びが一層深まる
- ④ 相手に応じた関わりを通して、多様性への理解やリーダーシップが育つ

子どもたちの感想からも、こうした異学年交流のよさを実感している様子が伝わってきました。写真からも、表情豊かに学習に没頭している姿をご覧いただけることと思います。





今回のブッククラブを通して、読書への関心がさらに高まることを期待しています。

三年生になり、読書中の集中力も持続するようになってきました。ぜひご家庭でも、読書に親しむ機会を設けていただければ幸いです。